

プロジェクトめむろ

“私たちは働いて生きていく”

2015.01プロジェクト実行委員会



プロジェクトのミッション

「誰もが、当たり前
働いて生きていける」

そんな場所をここ“めむろ”で実現します。

プロジェクトのきっかけ



株式会社クック・チャム
代表取締役 藤田 敏子

「障がい者の雇用を拡大したい。
十勝平野に自社農園を！」



芽室町役場
町長 宮西 義憲

「この町で生まれ育った、
障がいのある子どもたちの
働く場を作りたい」



障がい者“でも”出来ることではない。
障がいのある彼ら“だからこそ”出来ることを追及したい。
エフピコ“だから”ではない。
どの場所で“でも”できる仕組みを証明したい。

芽室町について

■立地状況

十勝平野のほぼ中心部に位置する。

約42%が農地、約40%が山林の畑作地帯。

最高気温は33℃、最低気温は-26℃である。

■人口

19,243人(平成26年8月末現在)

■産業

基幹産業は、農業である。

小麦・じゃがいも・大豆・小豆・甜菜(ビート)・スイートコーンを生産しており、スイートコーンは生産量日本一である。



芽室町内の障がい者について

■障がい者数

知的障がい者	精神障がい者
165人	66人

平成23年度手帳保持者数(身体障がい者は除く)

■プロジェクト発足前の状況について

- ・知的・精神障がい者231名のうち福祉的就労者が33名
- ・町内に就労継続支援B型・就労移行支援の事業所が一カ所のみ
- ・一般就労移行達成実績は知的障がい者においては0名であった
- ・この町で生まれ、この町で育った障がいのある子供たち。
彼らの将来を考えた時、就労場所の創出は必須課題であった

第1章： 九神ファームめむろ 設立まで

■2012年8月【プロジェクト構想確定】

・プロジェクトリーダーの且田氏が芽室町を訪問

(株)エフピコの特例子会社である、(株)ダックス四国の障がい者雇用の取組みと、他企業へのコンサルの実績を知った芽室町からのアプローチがきっかけ

・「芽室町障がい者福祉就労事業所誘致推進会議」のアドバイザーとして且田氏を任命

■2012年9月【出資企業候補を確定】

出資企業の選定について

正しい障がい者雇用の実績があり、本プロジェクトにより利益を生むことのできる企業であること

■2012年10月【企業を巻き込む】

出資企業へのプレゼンテーション実施

- ・株式会社クック・チャム
- ・株式会社クックチャムプラスシー
- ・有限会社みらいPlus

プロジェクトめむろ 成功のポイント

【出資企業へのプレゼンテーション実施までの準備】

- ・農地の確保（障がい者家族協力）
- ・事業所予定場所として休園中の保育園利用（改装不要）
- ・JAめむろ、農林課の協力のもと、農業イメージを確定
（作業計画・農業工程・出来高予測など）
- ・JAめむろとの連携を担保
- ・農業サポーターの確保（地域の農業経験豊富な元気高齢者チーム）
- ・サービス管理責任者候補確定
- ・収支シュミレーション策定

企業へ、明確なメリットを提示することで、

意味と意義のある障がい者雇用が実現する

主な出資企業:株式会社 クック・チャム

設 立	1974年4月（本社:愛媛県新居浜市）
代 表 取 締 役	藤田敏子
従 業 員 数	120名（パートナー社員含む全社員600名）
資 本 金	1,000万円
事 業 内 容	・おかずのお店「クック・チャム」のチェーン展開 ・スーパーテナント「菜遊季」のチェーン展開 ・オードブル・お弁当・会席膳の製造 ・「キットシステム」による店舗へのキット食材の製造・供給 ・フランチャイズ事業（社内独立含む）
そ の 他	・障がい者・高齢者・女性を積極的に雇用 （全従業員のうち女性95%、グループでの障がい者雇用数43名） ・2013年、高齢者や障がい者の生活の質の向上と豊かで元気な生涯現役を実現させることを目的とした「NPO法人日本のお母さん」を設立 ・2002年女性起業家大賞受賞 ・2014年フードアクション日本入賞
関 連 会 社	(株)クック・チャムmymama、(株)クックチャムプラスシー (株)クックチャム マイチャンス

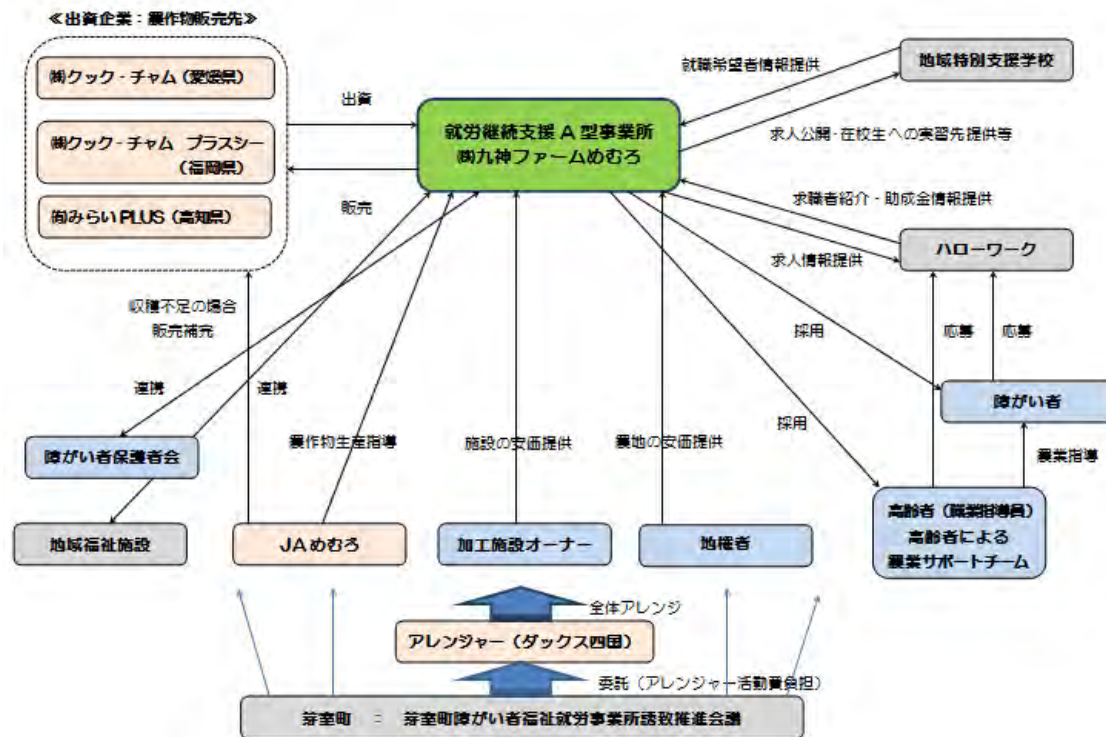
■2012年12月【プロジェクト本格的にスタート】

芽室町議会にて、町長が本プロジェクトを行政報告
対外的に本プロジェクトが公表される

- ・出資企業による法人設立登記
- ・町内の障がい者保護者会、地域の社会福祉法人、
教育関係者、医療機関、農業関係者など関係する各所
にむけての説明会を複数回実施



プロジェクトめむろ スキーム図



■2013年1月【詳細内容の決定】

関係者との信頼関係の構築、詳細打合せを実施

【芽室町民】

地権者・農業指導予定者・農業サポートチーム・加工施設
オーナー・サービス管理責任者・生活支援員予定者など

地域振興局・ハローワーク・高齢障害求職者雇用支援センター
JAめむろ・商工会・社会福祉協議会・特別支援学校など

■2013年2月【事業所認定を受ける】

就労継続支援A型事業所 認定申請提出 認定

- ・利用希望者(芽室町障がい者)の面談実施
- ・利用施設、物流、倉庫、機械、設備などの具体的な準備を開始



■2013年3月【人員確保、助成金申請】

- ・ハローワークへ求人票公開 面接、内定
重度判定実施、受給者証の取得
- ・利用者アセスメント及び個別支援計画書作成

第2章： 九神ファームめむろ設立

■2013年4月 事業開始



雇 用 状 況	開所当初	現在
障 が い 者 従 業 員	9名 (知的:6名、精神3名) 重度6名	13名 (知的:10名、3名) 重度9名
サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	1名	1名
生 活 支 援 員	2名	1名
職 業 支 援 員 (高 齢 者)	1名	1.5名
農 業 サ ポ ー タ ー (高 齢 者)	2名	2名
送 迎 バ ス 運 転 手	1名	1名

九神ファームめむろにおけるキーセクションとの関係性



全てのセクションに対して各々が提供するものと享受できるものを明確にしていることが特徴

九神ファームめむろの農作業と加工作業

■収穫量について 農地:3ha(借用)

収 穫 量	平成25年度	平成26年度
ジャガイモ	30t	65t
カボチャ	18t	14t
小 豆	3t	生産なし

■加工生産量について

平成25年度	平成26年度
3805. 3kg	5910. 8kg



雇用形態について



勤務時間	9:30～17:00（7.5時間勤務、内休憩1時間。実働6.5時間）
休暇	月8休
給与	約11万円 就労継続支援A型利用料については減免申請
在住市町村	芽室町 11名 帯広市 1名（障がい者従業員）
通勤方法	全員送迎バス利用（全員在宅）
年齢構成	18歳～35歳（障がい者従業員）
その他	・社会保険加入 ・残業あり ・保護者交流会、親睦会、社員旅行あり ・出勤率 99% ・定着率 92%

平成25年度 十勝管内平均工賃一覧

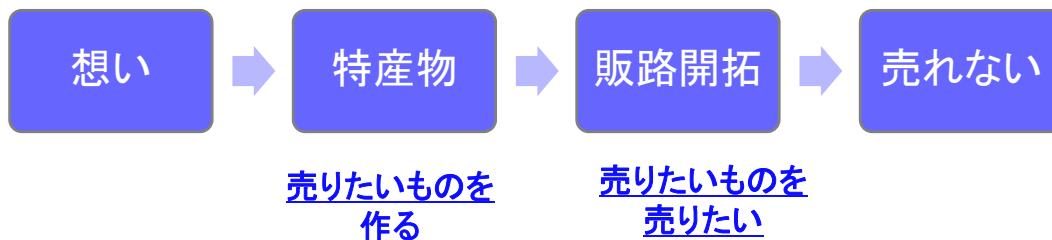
施設・事業所名	所在地	月額換算平均(円)	主な作業内容
九神ファームめむろ	芽室町	102,764	メークインの一次処理加工
くさなぎ農園	帯広市	79,272	農作業
十勝あすなろ会	帯広市	53,306	清掃業務請負・クリーニング取次・食品加工
しんかーず	帯広市	46,618	配食サービス
トリノ	帯広市	45,997	食品梱包作業・小物作成・パソコン
TOKACHI BAGEL CAFE POUR TOUS	帯広市	41,789	パン製造・販売・エコバック作成・地域美化活動など
ラムピリカ	本別町	41,448	分別作業・豚舎清掃
カフェ イコイ	帯広市	40,820	厨房・ホール・雑貨
とかちサポーターズ	帯広市	36,349	パン製造・販売
TEnoHIRA	帯広市	31,920	ミートパイの製造・販売
WEAVE	帯広市	21,957	清掃・事務・商品管理・接客・ホームページ作成及び運営

北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 調査

プロジェクトめむろの魅力

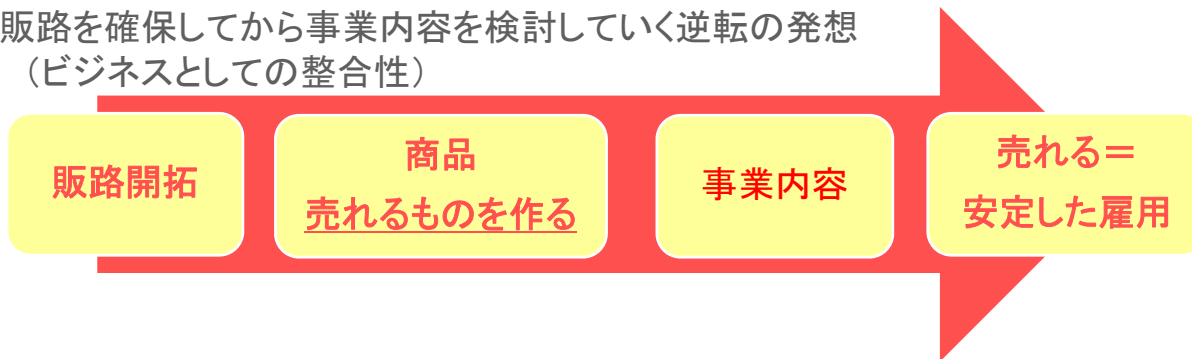
- ・行政と企業、地域の“広く深く強い”連携
- ・農業に加工作業を組み合わせることによって、通年雇用を実現
- ・関わる全ての人や機関に対して、提供するものと享受するものが明確に示されている
- ・障がい者だけでなく、元気高齢者と地域健常者の雇用の場となっている
- ・福祉的視点とビジネス視点をバランス良く持ち合わせている
コーディネーターの存在
- ・どの地域、どの行政であっても展開可能な仕組み

【今までの農福連携事例】



【プロジェクトめむろにおける農福連携】

販路を確保してから事業内容を検討していく逆転の発想
(ビジネスとしての整合性)



第3章： 観光事業の開始

2014年6月～芽室町地域おこし協力隊1名を
観光事業推進担当として配置

国民宿舎 新嵐山荘への宿泊と、
九神ファームめむろとの連携による
農業体験を活用した特別支援学校
の修学旅行誘致を行う



国民宿舎 新嵐山荘

本年度から試験的实施を既に開始しており、中札内高等養護学校幕別分校と、法政大学の学生を対象に農業体験を実施



働く障がい者が自ら、農業体験を学生に指導し、仕事の体験を通して、学生に働くことのやりがいや楽しさを感じてもらう。



「働く障がい者から未来の働く障がい者へ
働く力や想いを彼ら自身で継承する」
“就労キャリア教育”の礎となるべき事業を展開する

働いて生きていくキャリア教育旅行について

事前学習

- ①たね蒔きから収穫までの畑や農作業の様子について映像提供
- ②芽室町内で働く障がい者の仕事内容や職場での様子について映像提供
- ③農業や野菜、芽室町について学べるテキストの提供

事後学習

- ①当日の写真や映像を提供（振り返り用）
- ②農作物が、お客様の手元に届くまでの流れを説明した映像を提供
- ③働く障がい者の一日やお給料の使い方などのレポート映像提供

「働きたい！」「働いてみたい！」意欲を向上させる



第4章： 新加工場稼働

- ・2015年2月～新加工場稼働予定
障がい者8名、高齢者2～3名、健常者1名増員
加工作業の拡大



新加工場 完成予想図

第5章： 農福連携コミュニティレストランのオープン

【コンセプト】芽室町民に愛されるコミュニティレストラン

【芽室産の野菜を使用した定食の提供～地産地消～】

【障がい者雇用の情報提供の場～アンテナショップ的役割～】

【障がい者への就労機会提供の場～職域の拡大～】

【キャリア教育旅行(プロジェクトめむろ)などを活用する、道内外から訪れる
観光客への職場体験の提供】

【高齢者や障がい者、その家族など、町民の交流の拠点】



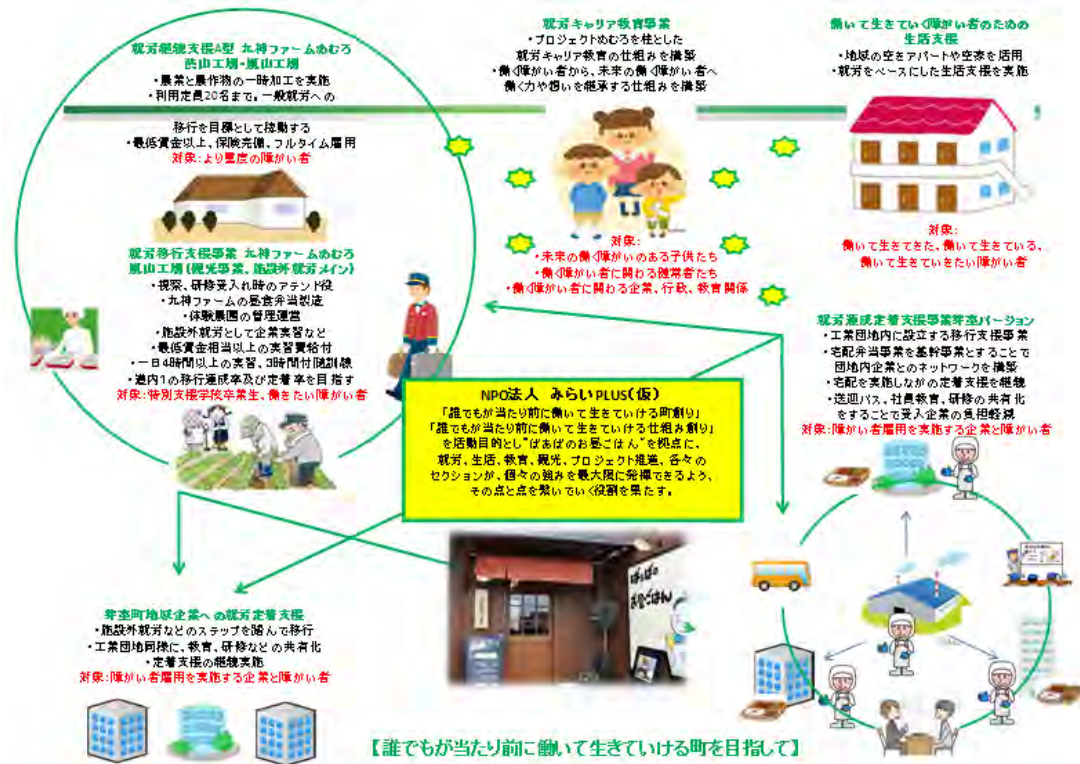
第6章： 就労達成定着支援事業開始

- 就労移行支援事業～就労達成定着支援事業（仮）
（既存福祉では成し得ない、芽室独自の仕組みでの事業展開を目指す）
→ 2016年芽室東工業団地の障がい者雇用拡大へと繋げる

私たちの目指す“就労達成定着支援事業”とは？

- ① 工業団地等、企業密集地に事業所を設立する
- ② 少数雇用であったとしても、企業負担を極力軽減できる仕組みを無償で提案する
 - 通勤バス、安全衛生教育、担当健常者の研修、交流会などの共有化
 - 日常的な巡回定着支援を実施
- ③ 就労達成定着支援員の育成に注力する
- ④ A型事業所から一般就労への移行達成による、企業が被るデメリットを極力回避する仕組みを構築
- ⑤ 就労達成定着支援を受ける障がい者が、訓練の期間であったとしても最低限の収入保証を得られる仕組みを構築

プロジェクトの未来



“働いて生きていく” 体験型就労キャリア教育inめむろ



芽室町商工観光課 細川智絵子

“プロジェクトめむろ”が提案する 修学旅行



- ①内容の濃い「体験」の提供
- ②忘れられない「思い出」の提供
- ③明日からの学び方を変える「気付き」の提供

事前・事後学習を含む体験



【当日】

8月下旬・9月上旬での収穫体験



事前・事後学習を含む体験



【事前学習】

- 種蒔きから収穫前までの農場や農作業の様子を映像にて観賞
- 九神ファームめむろで働く障がい者の仕事内容や職場での様子を映像にて観賞
- 当日の収穫体験がより楽しめるよう、農業のマメ知識や野菜、芽室の情報を提供

事前・事後学習を含む体験



【事後学習】

- ・当日の写真や映像を提供（振り返り用）
- ・農作物が、九神ファームめむろからお客様の手元に届くまでの流れを説明した映像を提供
- ・「仕事をするって何だか面白そう！」と思える働く障がい者からのメッセージビデオを提供（一日の生活や、お給料の使い方などを密着レポート）

当日の体験プログラム



農作物の
収穫体験



収穫した作物
の加工体験



加工したもの
の調理体験



食べる

九神ファームめむろ
農場

(ジャガイモ・カボチャ)



JAめむろ 緑のめぐみ館 愛菜屋となり

(いもだんご・かぼちゃだんご、ポップコーン
ポテトチップス・豆腐・パン・ドーナッツ)



当日の体験プログラム

農作物の
収穫体験



収穫した作物
の加工体験



加工したもの
の調理体験



食べる



障がい者従業員
の農作業指導



障がい者従業員
の加工作業指導



障がい者従業員
の調理作業指導



JAめむろ調理
指導員の指導あり

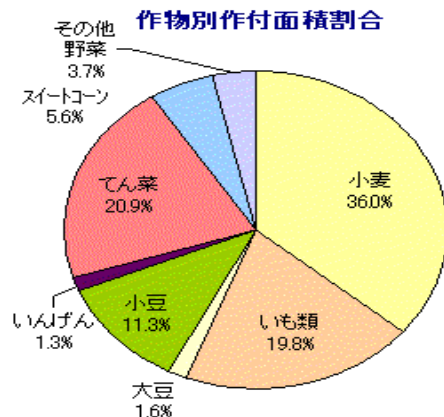
全工程で働く障がい者が作業指導を実施

芽室町の農業

- ・十勝平野のど真ん中にある畑作地帯
- ・基幹産業は、農業
- ・スイートコーン生産量日本一

作物別作付面積の割合(平成15年農林水産統計)

	作付面積(ha)
小麦	6,050
いも類	3,330
大豆	262
小豆	1,900
いんげん	214
てん菜	3,510
スイートコーン	936
その他野菜	607



十勝・芽室は食の町



【十勝・札幌コース】旅行行程



(1日目)

帯広空港 十勝千年の森(自然体験)

光勇牧場(牧草ロールやトラクター見学)

新嵐山荘宿泊

(2日目)体験教育プログラム 札幌移動・宿泊

(3日目)札幌観光 新千歳空港



【自然・動物満喫コース】旅行日程



(1日目) 帯広空港 ラフティング

ベアマウンテン 新嵐山荘宿泊

(2日目) 体験教育プログラム

光勇牧場(牧草ロールやトラクター見学)

(3日目) ばんえい競馬 花畑牧場 帯広空港



【アクティブコース】旅行日程

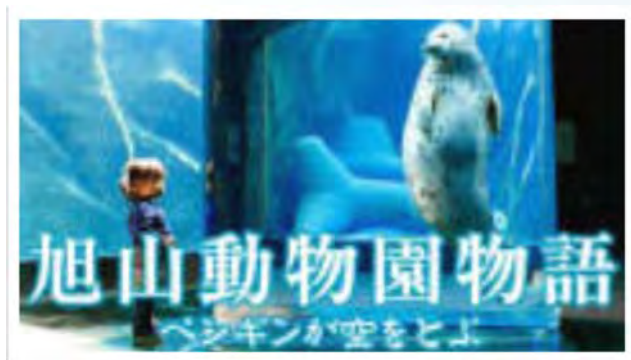


(1日目) 帯広空港 体験教育プログラム

新嵐山荘宿泊

(2日目) ラフティングor自然体験 富良野宿泊

(3日目) 旭山動物園 旭川空港



新嵐山荘について



客室: 洋室(4名3室、3名1室、2名8室)

和室(6名4室、5名1室)

定員: 60名

- 野外バーベキュー広場(室内可)
- 宴会室(大広間・中広間)
- カラオケ設備あり
- パークゴルフ場あり
- スキー場あり



体験プログラムから学ぶこと



- ①仕事とは、お客様に商品(サービス)を届けるための行程全てであるということ
- ②その中の一部に自分の仕事(役割)があるということ
- ③お客様のために自分ができることを一生懸命することが仕事であるということ

体験プログラムから学ぶこと



- ④私たちの生活はたくさんの方の仕事で成り立っているということ
- ⑤仕事をするとお給料が貰えるということ
- ⑥例えば障がいがあったとしても、働いて生きている人がたくさんいるということ

このプログラムの特長



- 働く障がい者が、学生に直接指導を実施
働く障がい者だから伝えることができる
「仕事への想い、やりがい、ヒント」がある
- 収穫から食べるまでを、仕事の流れに沿って体験できる
毎日食べているもの、着ているもの、使っているものは「誰かの仕事」で成立っており、日常生活は「仕事」で溢れていることに気付く

このプログラムの特長



- ・単なる体験に留まらず、事前・事後の学習を含めたプログラムにすることで学生の就労意欲、就学意欲を高めることができる
- ・プログラム中は、障がい者支援経験者（要資格者）が学生のサポートと作業指導を全面的に実施するので、先生も指導する側でなく、学生同様に体験をする側として参加できる

先生と生徒の、共通の思い出作り

このプログラムの特長



- ・学校の指導方針や学習のねらいに応じて
オーダーメイドでプログラムを組めること

障がい者就労、支援の経験者が窓口になるため、
きめ細かい対応ができる

学生の障がい特性や理解度にも対応可

学生だけでなく教員への就労キャリア教育にもなる

“プロジェクトめむろ”の考える就労キャリア教育

働く障がい者から未来の働く障がい者へ
働く力や想いを彼ら自身で継承すること

「仕事が好き、会社が好きという気持ち」

「自分の仕事への誇り」

「自分がやらなければ誰かが困るという責任感」

「出来ないことや負けることの悔しさ」

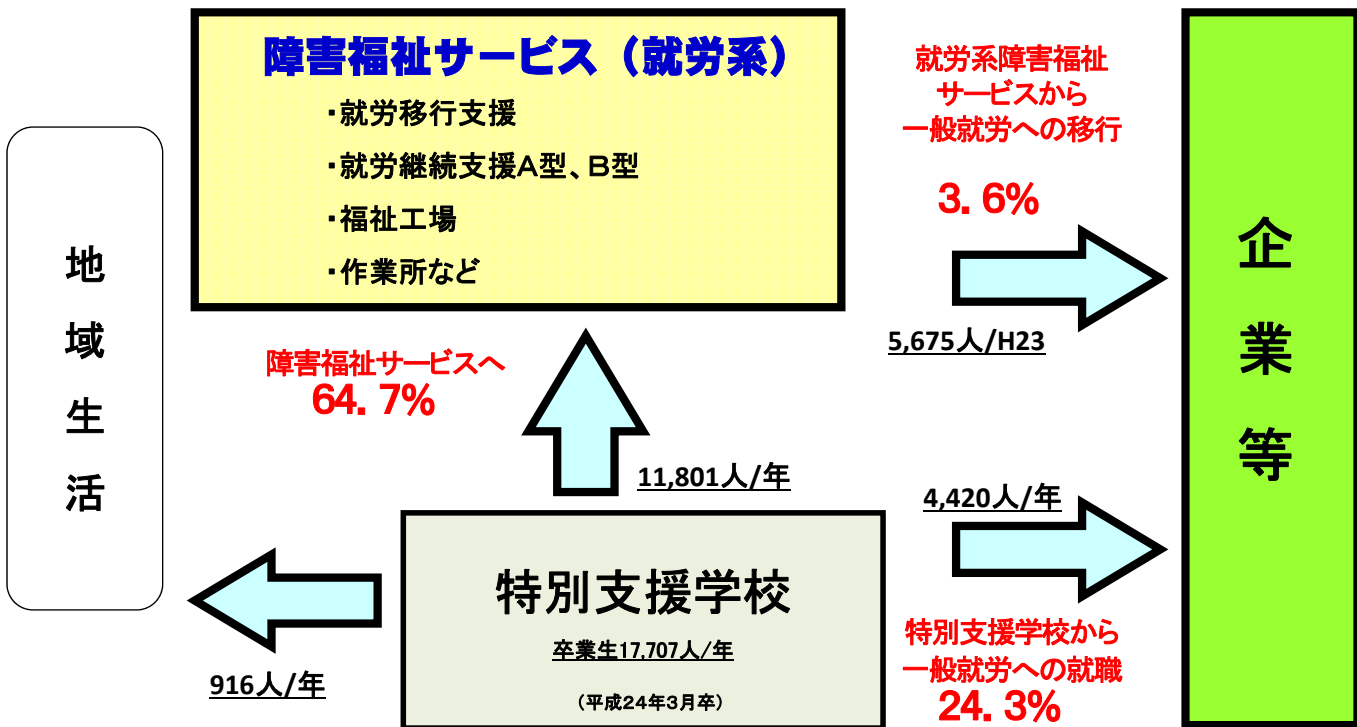
「出来るようになりたいという向上心」

「協調性とチームワークの大切さ」

「働いているからこそできること」

障がい者雇用の現状

障害者総数約744万人中、18歳～64歳の在宅者の方、約332万人
(内訳:身124万人、知 27万人、精181万人)



「未来に不安しか持てない」という高校生

仕事楽しむ姿 大人は見せて

高校生 永井 七海

(香川県 18)

私は働くということに良いイメージを持てません。周りの大人から「仕事は楽しい」「明日も仕事を楽しみだ」といった前向きな言葉を聞いたことがないというのも一つの原因のような気がします。私は高校2年の夏休みにプールの受付のアルバイトをしました。ある日ほかのバイトがミスをし、そのクレームに社員も謝罪しているのを見ました。私は社員は大変だと思いました。仕事に毎日行き、部下のミスの責任も取る。こんな現実を見る度に、社会人になりにくくないと思っています。

私は卒業後、旅行関係の専門学校に進む予定です。進学を選んだのは、まだ社会人になりたくない、遊んでいたいと心のどこかで思っていたからかもしれません。その一方で、高い学費を親に払ってもらってまで専門学校に通っても、いずれは社会人になり仕事に苦痛になるのだから、通う意味が果たしてあるのかと思う時もあります。仕事にしても、収入が低いと食べていくのが精いっぱい、楽しいこともできず、ただひたすら働く。そんな自分しか想像できず、未来に不安しか持てません。実際に仕事を楽しんでいる姿を大人に見せてほしいです。

働く楽しさややりがいを見せること



- 健常者では難しいことを障がい者ができる

障がいのある彼らでもできることではない。
障がいのある彼らだからできることがある

- 楽しい仕事があるわけではない。どんな仕事であつたとしても、楽しさを見つけ出し、自分の力を発揮すること

彼らの些細なことを最大に楽しむ力が強み

- 障がい者同士だからこそ共有できる思い



芽室町の基幹産業である農業で働く障がい者。

自分たちで作った野菜を加工し、
愛媛・福岡で待つ働く障がい者へ...

プロジェクトめむろがスタートを切って、2年。

第2章から第3章へ...

芽室町の顔として観光でおもてなしをする障がい者。

彼らと一緒に働きたい

ここは誰でもが当たり前のように働いて生きていける町、芽室町。